事例No.	872
公表年度	R1
団体の属性	中核市
団体名	愛知県岡崎市

事例区分	一般行政

タグ	・人材確保・育成 ・教育・子育て ・地域運営組織

事例種類	人材育成の取組事例

事例内容・タイトル

森林整備人材育成講座の開催

出典

森林環境譲与税の取組事例集（令和２年１月）

人材育成・担い手対策

愛知県　岡崎市（森林整備人材育成講座の開催）

わがまちの税活用方針

・本市は、矢作川に注ぎ込む乙川の水源から下流域までを市域としており、水源地である額田地域では、市民の水資源の確保に大きな役割を担っており、主にヒノキの産地として、篤林家を中心に植林・保育・管理がなされてきたが、近年、林業の低迷や、少子高齢化等に伴う林業の担い手不足が問題となっている。
・このため本市では、新たに譲与される森林環境譲与税を活用し、次の事業に取り組む。
・森林整備人材育成講座
森林所有者や、自伐林家、ボランティア活動等を行っている人工林の整備に関心のある方を対象に、森林整備に関する基礎的知識やチェーンソーの取扱い、安全な伐倒技術等を学ぶ講座を開催する。

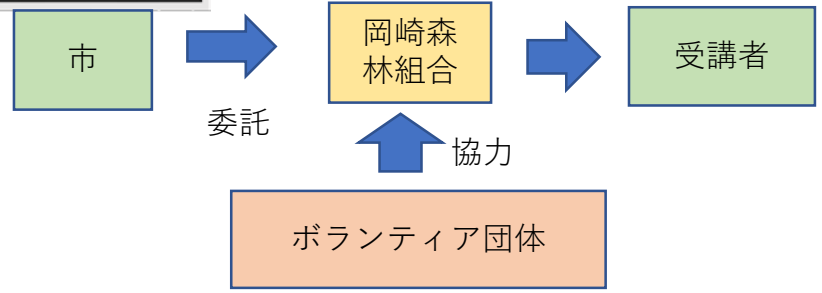
主な取組・概要

・森林所有者や森林整備活動に関心のある方を対象に、森林整備に関する基礎的知識やチェーンソーの取扱い、安全な伐倒技術等を学ぶ講座を開催する。

森林整備人材育成講座（委託事業）
予算額（うち譲与税）　827（827）千円
⑴　人工林整備間伐養成講座（基礎）
【講座日数】　５日間
【主な事業内容】
①座学（森林整備に関する基礎的知識等）
②チェーンソーの取扱い、メンテナンス
③林分調査と選木
④立木の伐採、玉切り、枝払い

⑵山主自伐支援講座（実践）
【講座日数】　３日間
【主な事業内容】　（※上記⑴講座修了者を対象）
①　かかり木等の安全な処理技術
②　玉切りした材のウィンチ等を使用した搬出
③　くさび等を使用した小中径木の伐倒

事業スキーム







工夫・留意している点、特徴等

・安全を第一に考えて、講座を進めている。
・講座では岡崎森林組合の他、地域の森林ボランティアが補助講師として協力し、複数人の視点で指導している。
・講座修了後、森林整備活動を行うボランティア団体を案内し、地域での森林整備の活動を推奨している。